

はじめての ディベート英作文

- 頻出のトピックについて学ぼう - Volume. **1**

英作文練習帳 / Essay Writing Exercises

- Contents -

- 1) Prohibition or Regulation 「禁止か規制か」
- 2) Rehabilitation, Deterrence, & Proportionality 「犯罪と罰」
- 3)

授業の予定

高校 [] 年 () 組 () 番 氏名 _____

■ この冊子の使い方

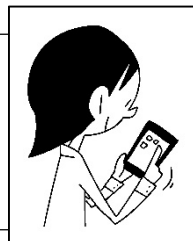
この英作文冊子では、

高校生の間での、部活動としての英語ディベート指導は、ずいぶん充実してきたのではと思います。また、英語ディベート活動に期待される成果も、部活動としての充実した高校生活から、より一般的な英語力の向上へと比重が動いてきているように思います。たとえるならば、高校での英語ディベートの位置は、珍重された舶来の嗜好品から、日常的に気軽に口にできるお菓子に変化したのではないかと思います。

この冊子は、気軽にチョコレートを食べるように、英語ディベートで扱われるトピックについて考え、文章を書くための練習帳です。賛成か反対かを考えることは、毎日すると少し飽きるかもしれませんが、週に1回程度であれば良い頭の練習になるのではと思います。

ディベート的なトピックで使うことが出来る議論は、ある程度フォーマットがあります。数学の問題を解くときには、ある程度公式を知っている必要があります。先人が積み上げた物の上に立ってこそ、より遠くを見ることが出来ます。ある考えの賛否を考える上での典型的なパターンを知った上で、最終的には、社会で日々生まれる新しい問題について取り組んでもらえればと思います。

禁止か規制か



おそらく最も頻繁に人々が取り組む「ディベート的な」トピックは、好ましくない行為の制限です。ある人々が望ましくない行動をとっているとして、それをどう抑制するか、という問題です。家庭では子どものスマホ利用について、学校ではマンガなど勉強に不要な物品の持ち込みなど、皆さんも家族やクラスで話し合ったことがあるのではと思います。

社会ではギャンブルの取り締まり、薬物の規制（タバコや大麻など）、そして腎臓など臓器移植用の臓器売買についてなど、新聞などで目にするところがあるかもしれません。より大きく国家間のレベルでは、発展途上国での児童労働の問題や、条約による核兵器関連技術の制限が典型的な例です。

（果たして学校に勉強道具以外を持ち込むことは、好ましくないことであるのかどうか、もちろんそれも議論の対象です。上記のトピックについて、それぞれ「そもそもそれは不適切な行動だと言えるのか」問いを持つこともできます。ただしここでは争点を単純化するために、それらは好ましい行動ではない、と前提します）。

それでは、これら好ましくない行動を、どう取り締まることが望ましいでしょうか。行為自体は好ましくないという共通の理解があっても、規制の方法については主に以下の3つの選択肢があります：

- ① 完全に禁止する (total ban)：例えば、大麻・薬物の所持と使用を完全に違法とすることや、学校でのスマートフォンの持ち込みを完全に禁止するなど。また、臓器売買について、日本では営利目的の臓器の提供は禁止されています。
- ② 部分的に禁止する (partial ban)：例えば核兵器の開発では、条約締結時点ですでに核兵器を保有している国以外が、新しく核兵器を開発・製造・入手することを禁止するなど（核不拡散条約、the Non-Proliferation Treaty の要旨がこれに該当します）。別の例として、日本のギャンブルの規制では、原則として政府が運営する公営の賭博を除いて、それ以外の私的な機関での賭け事を禁止しています。
- ③ 禁止・規制をしない：例えば法律に反しない限りで、私物の持ち込みについて校則を設けていない学校も日本にあります（その結果、休み時間に教室のテレビでマリオカート大会が開催されていたりするそうです）。

好ましくない行動に対して、そもそもどうして完全禁止ではなく、幾つかの選択肢が存在するのでしょうか。アメリカの禁酒法（Prohibition）を例に説明します。1920年代にアメリカではお酒の製造、販売、輸出入を禁止する法案が通りました。

この背景には、18世紀からの宗教的な信念に基づいた禁酒法推進派の運動(the Temperance Movement と呼ばれています)、第1次大戦で敵国となったドイツ系の住民が中心であったビール製造業者への偏見、新たに投票権を得た婦人層の支持など様々な要因がありました。（お酒を所有し消費すること自体は禁止されませんでした。個人が既に所有しているお酒はその人の財産であり、訴求法的にその財産を強制的に取り上げ、破棄させることは憲法上とても困難なことです）。

禁酒法と呼ばれる一連の憲法修正と各州での関連法の制定・施行で起きたことは、お酒の違法な取引による反社会的勢力(organized crime という表現が使われます)の増大と、密輸など関連する犯罪の増加でした。

また、密造酒による健康被害も発生しました。飲用アルコールの製造が違法化されたことにより、消費者は政府による安全性の指導監督や、業界団体による質の保証が受けられなくなりました。個人による小規模な醸

造を除けば、密造酒の生産は、精製が合法であった工業用アルコールを加工するなどして作られました。この密造酒を飲むことにより、失明や中毒死などの被害が起きました。

そして肝心の、様々な社会悪の原因とされたアルコール消費の抑制については、闇市場(black market)での販売により、酒類の総消費量は大幅な減少とはなりませんでした。

このように、完全禁止では問題の解決にならず、さらには別の問題にならないことから、根絶が難しい悪癖の多くは、あえて部分的に許し、政府の管理下に置くことがよくあります。社会的な問題以外でも、学校でのスマホの持ち込み（学校内では使用しない、授業中は使わないなど）、家庭でのテレビゲームの制限（1日1時間までなど）においても、基本的な考えは変わりません。

ディベート・英作文のトピックとして

「～を禁止することについて賛成ですか、反対ですか」というお題に対しては、以下の立場を取ることが出来ます：

【賛成側のスタンス】

- ① [Hard Stance] 話題となっている問題は、とても深刻な物で全面禁止するしかない。禁止することによって、問題が解決する。
- ② [Soft Stance] 話題となっている問題は、確かに深刻ではある。しかしながら、全面禁止では副次的な問題が起るため、部分的な禁止をするべきである。

【反対側のスタンス】

- ① 話題となっている問題は、そもそも深刻なものではなく、禁止する必要は無い。また、禁止をすれば副次的な問題が発生してしまう。
- ② 話題となっている問題は、確かに何らかの対策が必要である。しかしながら、その対策は禁止することではなく、別のもっと良い方法があるのでそちらを選ぶべき。
- ③ 話題となっている問題は、確かに困ったことではある。しかし、全面禁止ではなく、部分的な制限をするべきである。

賛成側の2番目のスタンスと反対側の3番目は、実質は同じ内容になっています。表現の仕方次第で、賛成をしているようにも、反対をしているようにも読めます。特に否定側は、どのような立場を取っているのかははっきりとしなければ、何に反対しているのか伝わりにくくなります。

英作文では、それぞれどのスタンスを取るのか第1段落で明記し、その後複数のパラグラフで内容を説明すると伝わりやすくなります。トピックごとに用いる語彙・表現は異なりますが、議論の中身自体はそれほど変わりません。

【TOPIC for Debate & Essay Writing】

- 1) Given the increase in the cases of animal abuses, all forms of pet ownership should be banned.
- 2) High school students should not be allowed to bring mobile phones to school because they distract students from studying.
- 3) Children should not be allowed to use any Social Networking Sites (SNS).
- 4) All forms of gambling should be banned.
- 5) The U.S. government should ban the civilian possession of guns.
- 6) The sales of violent TV games should be banned.

[Language Focus] 「道具・手段の表し方」

「スマホで」「この政策で」など、日本語で道具・手段を表すときには「～で」をよく使います。その影響なのか、英語で文章を書くときに、“By smartphones” や “By this policy” など、前置詞 by を多用する人がいます。英文で「この道具・政策を使うことで、その結果このようか事が起こる」という情報を伝える際には、以下の2つの構文を憶えて使うと、より英語らしい文になります（詳しい文法的な説明は「名詞構文・無生物主語」という項目で学びます）。

■ This would make O C

表現	文例
<ul style="list-style-type: none"> • This would make <u>people happier</u>. (これは人々をより幸せにする) 	<ul style="list-style-type: none"> • This would make your study environment better. (これにより、学習環境がより良くなる) • This would make <u>us</u> feel more comfortable. (これは、私達をより幸せにするだろう)

■ make it possible for ~ to V

表現	文例
<ul style="list-style-type: none"> • This would make it possible for you to V (これはあなたが～することを可能にする) 	<ul style="list-style-type: none"> • This would make it possible for you to solve the problem. (これで問題を解くことが可能になるだろう) • This plan would make it possible for young people to study more. (この計画のおかげで、若い人々がより学ぶことが可能になる) • This would make it <u>easier</u> to solve the problem. (これにより、その問題の解決がより容易になるだろう)

【段落内での使い方】

(a) こんな困った問題がある、という説明

↓

(b) 問題解決の方法(道具であったり政策であったり)を述べる

↓

(b) 「そうすれば、その問題を解決することが出来るだろう」という説明をする。

TOPIC :

* 1 文目は、トピックを書き写すのではなく、 I [agree / disagree] with the statement for the following reasons. としましょう。

Word Count:

Category	A	B	C	D
Topic & Thesis	There is one clear, well-focused topic. The main idea stands out.	The main idea is clear.	The main idea is somewhat clear (a need for more coherence).	The main idea is not clear.
Support (Reason)	Relevant and quality details make the writing clear & persuasive.	Supporting details and information are clear.	Supporting details and information are somewhat unclear.	Supporting details and information are unclear or unrelated to topic, or are poorly thought out.

Name:

Class:

Student No.: